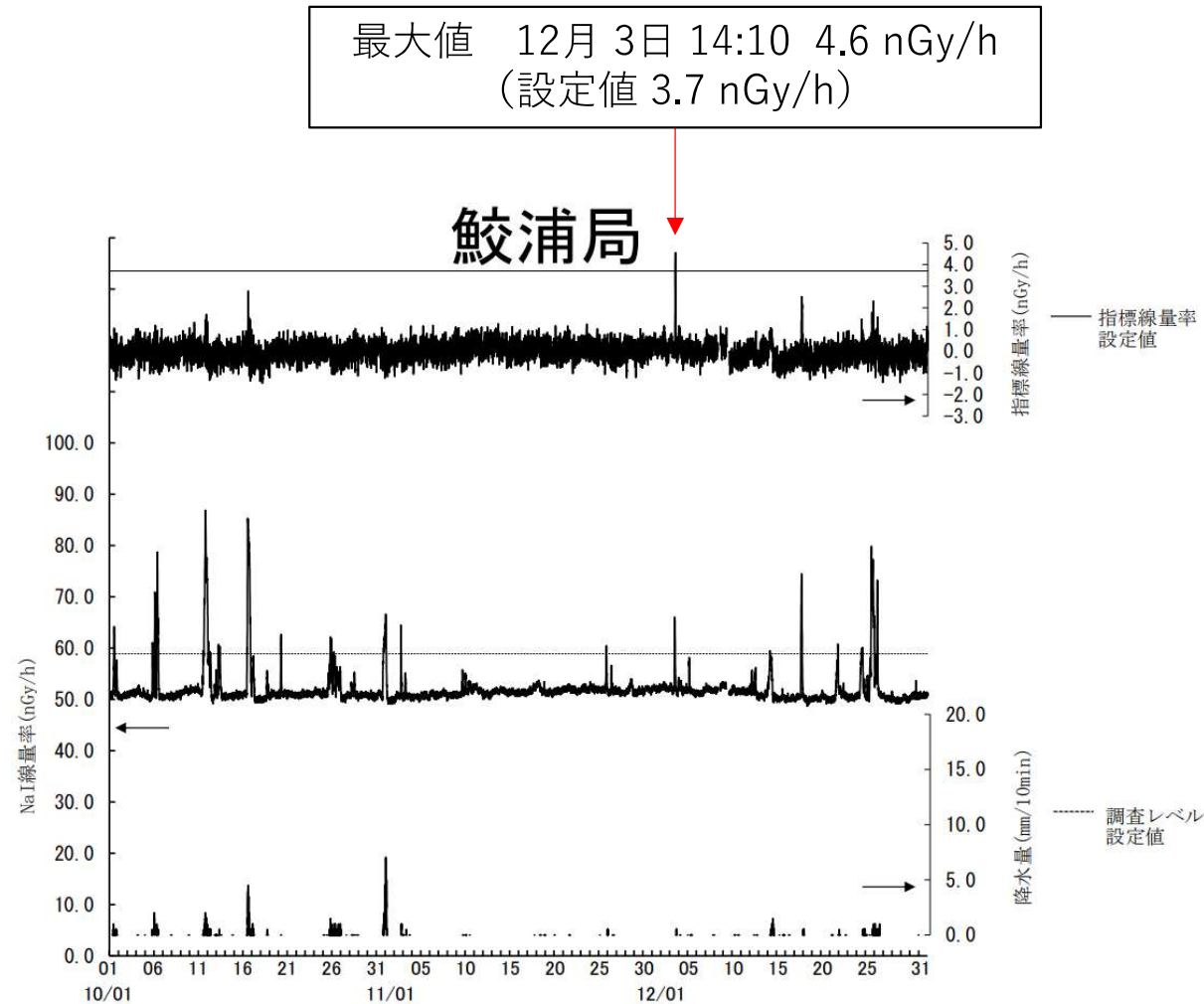


モニタリングステーション鮫浦局における 指標線量率設定値の超過について

令和 8 年 2 月 3 日
宮城県環境放射線監視センター

1 第3四半期における指標線量率の上昇

- ・ モニタリングステーション鮫浦局における指標線量率について、令和7年12月3日の降雨時に設定値を超過した。
- ・ なお、設定値超過時刻付近の排気筒モニタ等に有意な上昇はなかった。

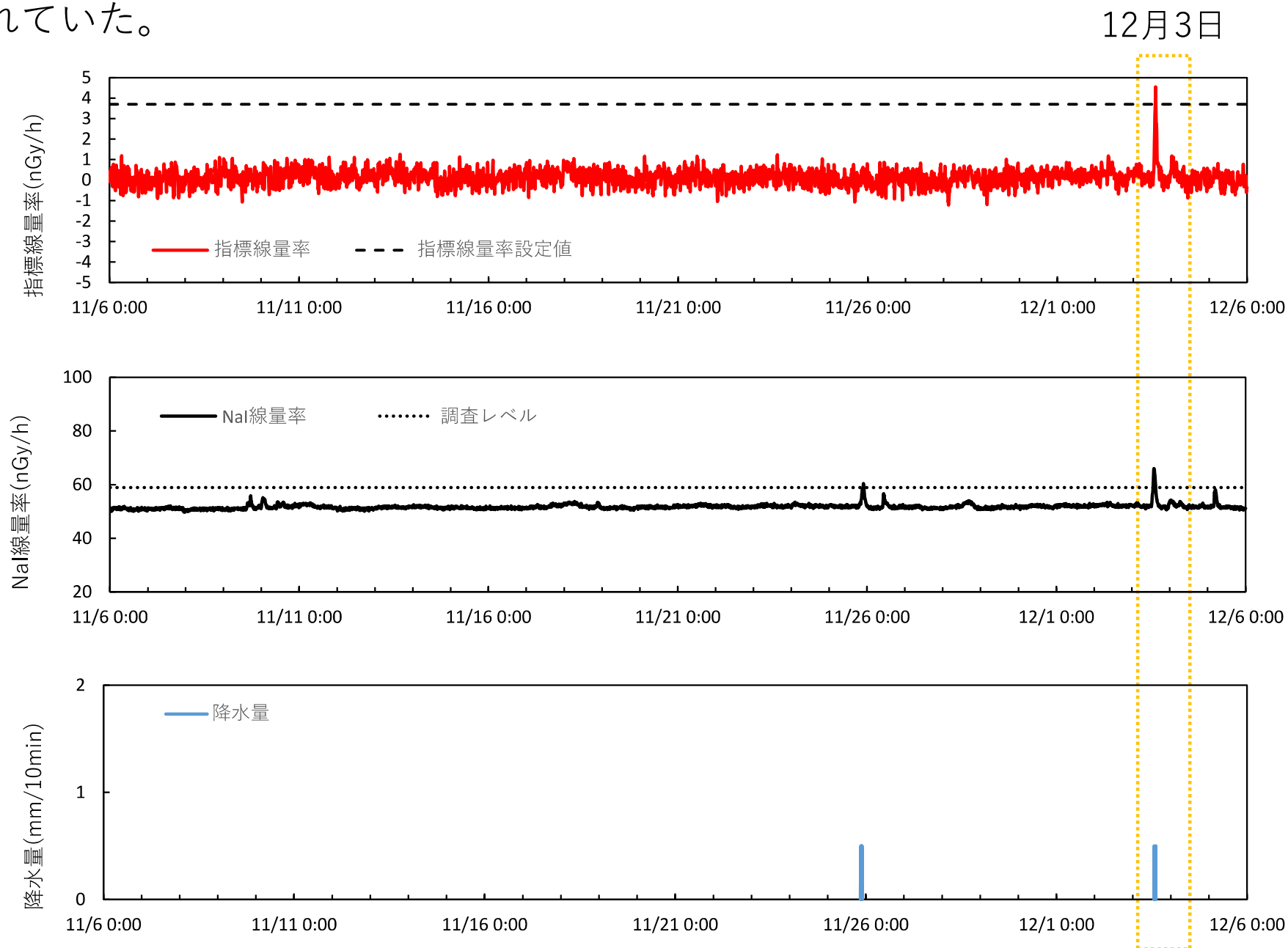


図－1－5 NaI(Tl)検出器による空間ガンマ線量率等監視結果（鮫浦局）

（注）12月8日及び9日の欠測は、定期点検によるものである。

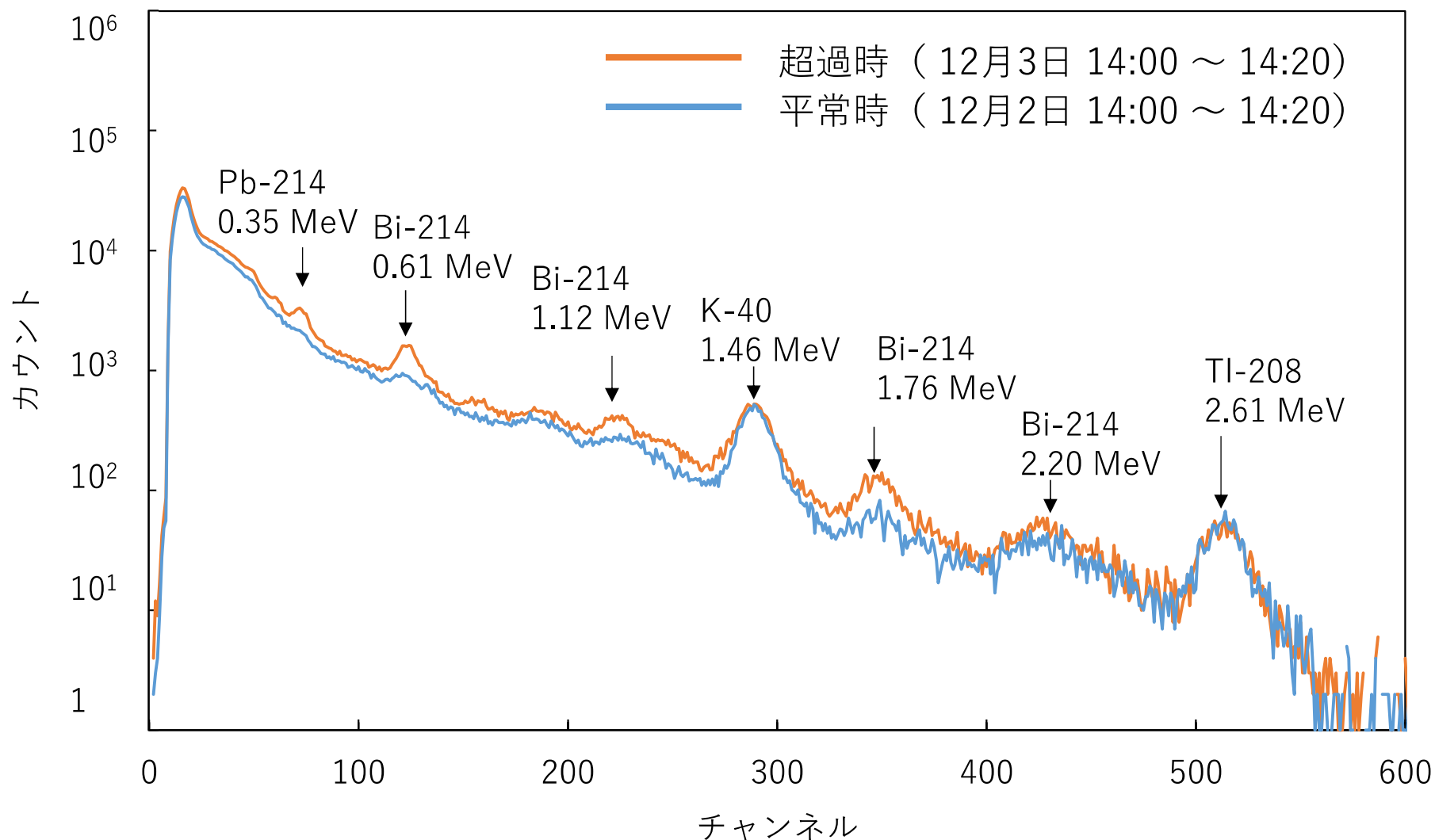
2 鮫浦局における指標線量率、NaI線量率及び降水量

- 令和7年12月3日に指標線量率が設定値を超過した時刻には、降水が観測されていた。



3 鮫浦局における降水時のスペクトルデータ

- 鮫浦局において、指標線量率が設定値を超過した際のスペクトル（NaI検出器）から、**天然放射性核種の上昇**が確認された。



まとめ

- 令和7年12月3日にモニタリングステーション鮫浦局において、降雨時に指標線量率設定値を超過した。
- 指標線量率が設定値を超過した際のスペクトル（NaI検出器）を確認した結果、天然放射性核種の上昇が認められ、人工放射性核種の影響はなかった。

(参考) 空間ガンマ線量率の評価方法

- 本技術会資料－１－３ P.15に記載のとおり、空間ガンマ線量率の評価は以下の流れで実施する。

